

大谷大学学則

第1章 総則

(目的)

第1条 大谷大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、仏教の精神に則り、人格を育成するとともに、仏教並びに人文に関する学術を教授研究し、広く世界文化に貢献することを目的とする。

第2条 前条の目的及び使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について、本学において自ら不断に点検及び評価を行い、その教育研究水準の向上を図るものとする。

2 前項の点検・評価を行う組織・項目など、実施に必要な体制については別に定める。

第2章 組織

(学部)

第3条 本学に文学部（以下「学部」という。）を置く。

2 学部に次の学科を置く。

真宗学科、仏教学科、哲学科、社会学科、歴史学科、文学科、国際文化学科、人文情報学科、教育・心理学科

3 各学科の教育研究目的は次のとおりとする。

(1) 真宗学科は、釈尊の教説や親鸞の著作などに依り、自己を問い、人間を問うとともに、親鸞思想とその思想的背景の研究を進め、仏教精神に基づく豊かな人物の育成をめざす。

(2) 仏教学科は、仏教の専門的な知見を通して深く人間を理解し、現代社会のさまざまな問題の根底に存在する課題を見抜いて、他と共に生きようとする人物の育成をめざす。

(3) 哲学科は、人間や世界にかかわる根本的な問題を東西の思想伝統を踏まえつつ考究し、多様かつ柔軟な視点と論理的思考力を培い、現代の諸問題に対処することのできる人物の育成をめざす。

(4) 社会学科は、社会的存在としての人間の特質・問題・可能性についての知見を求め、自らの課題の発見・探究とその成果の表現・共有に取り組む学習を通じて、現代社会を心豊かに生きる人物の育成をめざす。

(5) 歴史学科は、日本を含む東アジアの歴史およびそれと不可分な仏教など諸宗教・思想を対象とした歴史学研究を通じて、現代社会で直面するさまざまな課題を多角的かつ的確に分析し、それに対処しうる人物の育成をめざす。

(6) 文学科は、東洋・西洋の文学を研究対象とし、テキストの精読・分析を通して詩的象徴世界を解明し、人間と社会への理解力および、洞察力を持った人物の育成をめざす。

(7) 国際文化学科は、地域対象の「地域文化研究」、比較文化的手法を発展させた「異文化・自文化理解」、外国語運用能力を含めた「コミュニケーション力」を核とした教育を行うことによって、国際人としての人物の育成をめざす。

(8) 人文情報学科は、情報処理の技術の習得を前提としながらも、その先に情報を受け取る側の人間について深い理解と共感を持って情報をデザインしていけるような、文系と理系との架け橋となる人物の育成をめざす。

(9) 教育・心理学科は、いのちを尊ぶ宗教的情操を涵養するとともに、教育・心理に関する専門的な知見を身につけ、幼児・児童の教育において、豊かな人間理解の態度と能力を備えた人物の育成をめざす。

4 各学科の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
文学部	真宗学科	70名	280名
	仏教学科	25	100
	哲学科	60	240
	社会学科	120	480
	歴史学科	100	400
	文学科	70	280
	国際文化学科	100	400
	人文情報学科	100	400
	教育・心理学科	100	400
計		745	2,980

(大学院)

第4条 本学に大学院を置く。

2 大学院の学則は別に定める。

(研究室・図書館・博物館・研究所・体育館)

第5条 本学に研究室、図書館、博物館、真宗総合研究所及び体育館を置く。
2 研究室、図書館、博物館、真宗総合研究所及び体育館に関する規程は別に定める。

第3章 職員組織

(教職員)

第6条 本学に次の教職員を置く。

- (1) 学長
- (2) 教育職員（教授、准教授、講師、助教）
- (3) 事務職員（幹事、書記、書記補）
- (4) その他必要な教職員

第4章 教授会

(教授会)

第7条 本学に教授会を置く。

(教授会の構成)

第8条 教授会は、学部に属する教授、准教授及び講師をもって組織する。

(教授会の招集等)

第9条 学長は、教授会を招集し、学監・副学長が議長となる。

2 学長は、教授会の構成員の4分の1以上の者から招集の請求があるときは、これを招集しなければならない。

(教授会の開催)

第10条 教授会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ会議を開くことができない。

2 議事は、出席者の過半数でこれを決める。可否同数のときは、議長の決めるところによる。

(教授会の審議事項)

第11条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学及び卒業に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長、学監、副学長及び部科長等（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

第12条 その他教授会の運営に関し、必要とする事項については別に定める。

第5章 学年・学期及び休業日

(学年・学期)

第13条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2 学年を分けて次の2期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第14条 本学における休業日を次のとおり定める。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (3) 開学記念日 10月13日
- (4) 春期休業 3月20日から3月31日まで
- (5) 夏期休業 8月1日から9月10日まで
- (6) 冬期休業 12月27日から翌年1月7日まで

2 学長は、前項第1号から第3号までに定めるもののほか、臨時に休業日を定めることができる。

3 学長は、第1項の休業日を変更することができる。

(授業期間)

第15条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限・在学年限)

第16条 学部の修業年限は、4年とする。

第17条 学生は、8年を超えて在学することができない。ただし、第37条第1項又は第38条第1項の規定により入学した学生は、第37条第2項又は第38条第2項に定められた修業年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。なお、再入学

者は過去に在学していた年数を在学年数に含めるものとする。

第7章 教育課程

(開設授業科目)

第18条 学部の授業科目は、必修科目、選択科目に分け、これを各年次に配当して編成することを考慮し、その内容により、共通基礎科目、学科専門科目及び現代総合科目に分ける。

2 前項の授業科目及び単位数は、別表 I — 1 のとおりとする。

(卒業の要件)

第19条 学部を卒業するためには、学生は4年以上在学し、次の基準及び卒業単位一覧表に基づいて、124 単位以上を履修しなければならない。

(1) 共通基礎科目

総合科目として「人間学Ⅰ」4単位及び「人間学Ⅱ」4単位の計8単位、大学導入科目として「学びの発見」2単位、第1外国語として「英語」4単位、並びに第2外国語として「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」又は「日本語」(外国人留学生に限る。)のうち、いずれか1カ国語4単位、合計18単位を履修しなければならない。

(2) 学科専門科目

学科専門科目は、計66単位を履修しなければならない。ただし、社会学科の一部及び教育・心理学科にあつては計82単位を履修しなければならない。学科ごとの区分の詳細は「大谷大学文学部履修規程」に定める。

(3) 現代総合科目

現代総合科目は、コミュニケーション系、キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系からそれぞれ4単位、合計16単位を履修しなければならない。ただし、社会学科の一部及び教育・心理学科にあつては不要とし、詳細は「大谷大学文学部履修規程」に定める。

(4) 自己選択科目

自己選択科目は、学科専門科目及び現代総合科目で必要単位数以上履修した単位並びに第26条の2、第26条の3で認定された単位を合計して、24単位以上を履修しなければならない。詳細は「大谷大学文学部履修規程」に定める。

卒業単位一覧表

科目群		学科									
		真宗 学科	仏教 学科	哲 学科	社会 学科	歴史 学科	文 学科	国際 文化 学科	人文 情報 学科	教育・ 心理 学科	
共通 基礎 科目	総合科目	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
	大学導入	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	第1外国語	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	第2外国語	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	小計	18	18	18	18	18	18	18	18	18	
学 科 専 門 科 目	学科導入	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	演習	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
	概論	4	4	8	4	6	8	4	4	8	
	講義	18	18	22	24又は42	20	20	24	16	30	
	実践研究	18	18	10	10又は12	14	12	12	20	18	
	卒業論文	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
	小計	66	66	66	66又は82	66	66	66	66	82	
現 代 綜 合 科 目	コミュニケーション系	4	4	4	0又は4	4	4	4	4	—	
	キャリア形成系	4	4	4	0又は4	4	4	4	4	—	
	自然生命系	4	4	4	0又は4	4	4	4	4	—	
	歴史文化系	4	4	4	0又は4	4	4	4	4	—	
	小計	16	16	16	0又は16	16	16	16	16	—	
自己選択科目	24	24	24	24	24	24	24	24	24		
合計	124	124	124	124	124	124	124	124	124		

(副専攻)

第19条の2 第18条に規定する開設授業科目のうち、特定課題に関する科目で構成する副専攻を開設し、その学習成果を認定することができる。

2 副専攻に関し必要な事項については、別に定める。

(資格の取得)

第20条 本学において中等科教育職員免許状を得ようとする者は、第19条に規定する卒業要件を充足し、かつ、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項における「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」は、必修科目と選択科目とし、その授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

3 本学において取得できる中等科教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。

学部	学 科	種 類	教 科	基礎資格
文 学 部	真 宗 学 科	高等学校教諭一種	宗教科	学士の学位を有すること。
		中学校教諭一種		
	仏 教 学 科	高等学校教諭一種	宗教科	
		中学校教諭一種		
	哲 学 科	高等学校教諭一種	公民科	
		中学校教諭一種	社会科	
歴 史 学 科	高等学校教諭一種	地理歴史科		
	中学校教諭一種	社会科		
文 学 科	高等学校教諭一種	国語科・英語科		
	中学校教諭一種			
国際文化学科	高等学校教諭一種	英語科		
	中学校教諭一種			

4 その他教職に関する必要事項は、別に定める。

第20条の2 本学において初等科教育職員免許状を得ようとする者は、第19条に規定する卒業要件を充足し、かつ、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項における授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

3 本学において取得できる初等科教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。

学部	学 科	種 類	基礎資格
文学部	教育・心理学科	小学校教諭一種 幼稚園教諭一種	学士の学位を有すること。

4 その他教職に関する必要事項は、別に定める。

第20条の3 本学において学校図書館司書教諭の資格を得ようとする者は、第19条に規定する卒業要件を充足し、かつ、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目及び単位を修得すると共に、学校図書館司書教諭講習規程に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項における授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

3 その他学校図書館司書教諭に関する必要事項は、別に定める。

第20条の4 本学において特別支援教育職員免許状を得ようとする者は、第19条に規定する卒業要件を充足し、かつ、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項における授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

3 本学において取得できる特別支援教育職員免許状は、次のとおりとする。

学部	学 科	種 類	基礎資格
文学部	教育・心理学科	特別支援学校教諭一種（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）	学士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。

4 その他教職に関する必要事項は、別に定める。

第21条 本学に社会教育法第9条の4第3号及び社会教育主事講習等規程第11条の規定に基づき、社会教育主事としての素養を与えるために、「社会教育に関する専門科目」を置く。

(1) 授業科目及び単位数は、別表I-2のとおりとする。

(2) その他社会教育に関する必要事項は、別に定める。

第21条の2 本学に博物館法及び同法施行規則に定める「博物館学に関する専門科目」を置く。

- (1) 授業科目及び単位数は、別表Ⅰ－２のとおりとする。
- (2) その他博物館学に関する必要事項は、別に定める。

第21条の3 社会学科において社会福祉士国家試験受験資格を取得するために「社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目」を置く。

- (1) 授業科目及び単位数は、別表Ⅰ－２のとおりとする。
- (2) その他社会福祉士国家試験受験資格取得に関する必要事項は、別に定める。

第21条の4 真宗大谷派教師の資格を取得する者のために「真宗大谷派教師資格に関する科目」を置く。

- (1) 授業科目及び単位数は、別表Ⅰ－２のとおりとする。
- (2) その他真宗大谷派教師資格取得に関する事項は、別に定める。

第22条 本学に図書館法及び同法施行規則に定める「図書館学に関する専門科目」を置く。

- 2 前項における授業科目及び単位数は、別表Ⅰ－２のとおりとする。
- 3 その他図書館学に関する必要事項は、別に定める。

第22条の2 初級スポーツ指導員の資格を取得するために、「初級スポーツ指導員資格に関する科目」を置く。

- (1) 授業科目及び単位数は、別表Ⅰ－２のとおりとする。
- (2) その他初級スポーツ指導員資格取得に関する必要事項は、別に定める。

第8章 履修の方法、学習の評価及び進級

(専攻・登録)

第23条 学生は、学科専攻登録を別に定める方法により行わねばならない。

第24条 学生は、当該年度において履修すべき授業科目を定められた時期に登録しなければならない。登録は、聴講登録及び受験登録とする。

- 2 学生は、前項により登録をした授業科目以外の授業科目を履修し、また単位を修得することができない。

(単位)

第25条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成し、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で、本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

- (2) 外国語、実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で、本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

- (3) 一つの授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

- (4) 卒業論文については、その制作に必要な学修等の成果を評価し、8単位とする。(単位修得の認定)

第26条 本学は、授業科目を履修し、授業に3分の2以上出席した者には、認定の上、所定の単位を与える。

- 2 単位修得の認定は、試験、論文その他の方法によるものとし、その方法は、各授業科目担当者がこれを定める。

(入学前の既修得単位の認定)

第26条の2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学、短期大学、高等専門学校及び専修学校の専門課程（以下「大学等」という。）又は高等学校の専攻科及び中等教育学校の後期課程の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。以下「高等学校等の専攻科」という。）において履修した授業科目について修得した単位を、入学後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項により修得したものとみなし、与えることのできる単位数は、編入学、転入学又は再入学の場合を除き、本学において修得した単位を含めて40単位を超えないものとする。

- 3 編入学又は転入学の場合の入学前に修得した単位の認定は、教授会の議を経て、学長が決定する。

- 4 再入学の場合の退学前に修得した単位の認定は、教授会の議を経て、学長が決定する。

- 5 再入学者が、退学から再入学までの期間中に大学等又は高等学校等の専攻科において修得した単位がある場合は、前項で認定された単位を除き、本学において修得した単位を含めて40単位を超えない範囲で単位認定することができる。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第26条の3 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、前条の単位数と合わせて40単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができ

る。

2 再入学の場合は、本学を退学後、再入学までの期間中に大学又は短期大学において修得した単位の認定が40単位に充たない者についてのみ、前項の規定を適用する。ただし、前条第4項で認定された単位は除くものとする。

(外国の大学又は短期大学における単位の修得)

第26条の4 外国の大学又は短期大学で単位を修得した場合は、第26条の2及び前条の規定を準用する。この場合修得したものとみなすことができる単位数は、第26条の2及び前条の単位数と合わせて40単位を超えないものとする。

(試験等の時期)

第27条 試験等の時期は原則として学期末とするが、学長が特に必要と認めた場合は試験の時期を変更することができる。なお、各授業科目担当者が必要と認めたときは臨時にこれを行うことができる。

(卒業論文)

第28条 卒業論文の題目は、指導教員の承認を得て決定するものとする。

2 前項の論文の審査は口述試問を必要とする。

(受験資格)

第29条 当該授業科目の履修について、定められた時期に登録していない者は、試験を受けることができない。

2 前項のほか、懲戒のため全部又は一部の学習をしない授業科目の試験は原則として受けることができない。

(追試験)

第30条 疾病等正当な事由によって受験できなかった者については、願出の後、教授会の議を経て、学部長が認めた限度内において追試験を行うことができる。

2 追試験に関する必要事項は、別に定める。

(学習の評価)

第31条 授業科目の成績は、次のとおりとし、S、A、B、Cを合格とする。

S … (100点～90点)

A … (89点～80点)

B … (79点～70点)

C … (69点～60点)

F … (59点～0点)

K … (棄権・放棄により評価できないもの)

(進級)

第32条 各学年に進級の基準を設け、これに達しない者は進級を認めない。

2 前項に関し必要な事項は、別に定める。

第9章 入学

(入学の時期)

第33条 入学の時期は毎学年の始めとする。

(入学資格)

第34条 本学の第1学年に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)

(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 高等学校卒業程度認定試験規程により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者

(7) その他本学において、相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(入学の願)

第35条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に別表Ⅱに定める入学検定料を添えて提出しなければならない。

2 提出の時期、方法、同時に提出すべき書類等については別に定める。

(入学者の選考)

第36条 前条の入学志願者については別に定めるところにより選考を行う。

(再入学)

第37条 願いにより本学を退学した者が、退学後5年以内に再び本学へ入学を希望するときは、欠員のある場合に限り選考を行うことができる。

2 前項の規定による選考に合格した者の本学における修業年数は、教授会の議を経て、

学長が決定する。

3 再入学について必要な事項は、別に定める。

(編入学及び転入学)

第38条 次の各号のいずれかに該当する者で本学への編入学又は転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り選考を行うことができる。

- (1) 大学(外国の大学を含む。)を卒業した者
- (2) 大学(外国の大学を含む。)を中途退学(第1学年又は第2学年を修了)した者
- (3) 短期大学(外国の短期大学を含む。)、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
- (4) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者で、学校教育法第90条第1項に定める大学の入学資格を有する者
- (5) 高等学校等の専攻科を修了した者で、学校教育法第90条第1項に定める大学の入学資格を有する者
- (6) 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者
- (7) その他本学において、相当の年齢に達し上記各号と同等以上の学力があると認められた者

2 前項の規定による選考に合格した者の本学における修業年数は、教授会の議を経て、学長が決定する。

3 編入学及び転入学について必要な事項は、別に定める。

(入学志願者の可否の決定)

第38条の2 学長は、前3条の選考の結果について教授会で審議し、その意見を十分に考慮したうえで、入学志願者の可否を決定する。

(入学手続及び入学許可)

第39条 第36条、第37条及び第38条の規定による選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに誓約書、保証人の保証書、その他必要な書類を提出するとともに定められた学費等を納入しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(保証人)

第40条 保証人は、学生の在学中における、所定の納付金を遅滞なく納入することを含む一切の責任を負う者である。

2 保証人の転居、改印、死亡等のことがあった場合には、その旨を届け出なければならない。ただし、保証人の死亡その他の事由によって、保証人の変更を必要とする場合は、改めて保証書を提出しなければならない。

第10章 休学、復学及び留学

(休学)

第41条 疾病、事故その他特別の理由により、2カ月以上修学することができない者は、その事由を具して保証人連署の上、休学願を提出し、学長の許可を得て休学することができる。

2 疾病等のため修学することが適当でない認められる者については、学長はこの者に対して休学を命ずることができる。

(休学の期間)

第42条 休学期間は、1学期又は1年とする。ただし、引きつづき休学を要するときは特別の事由がある場合に限り、更に1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

2 引きつづき休学を要する場合は、その1カ月前までに休学願を提出し、学長の許可を得なければならない。

3 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

4 休学期間は、第16条及び第17条に定める在学期間には算入しない。

(休学中の科目履修)

第43条 学生は、休学のため全部又は一部の学習をしない授業科目の試験は原則として受けることができない。

(復学)

第44条 休学者が復学しようとするときは、復学しようとする学期の1カ月前までに所定の様式により復学願を提出し、学長の許可を得て復学することができる。

2 復学の時期は、前期又は後期の始めとする。

(留学)

第44条の2 学長が教育上有益と認めるときは、外国の大学又は短期大学に留学を許可することができる。

2 留学に関する取扱い等は、別に定める。

第11章 転学、退学、除籍及び復籍

(転学)

第45条 本学の学生が他の大学へ転学を希望する場合は、事前に退学願を提出し、学長の許可を得なければならない。

(退学)

第46条 退学しようとする者は、その事由を詳記し、保証人連署の上、所定の様式により退学願に学生証を添えて提出し、学長の許可を得なければならない。

(除籍)

第47条 次の各号のいずれかに該当する者は除籍する。

- (1) 規定された納金の義務を怠った者
- (2) 第17条に定める在学年限を超えた者
- (3) 第42条第1項及び第3項に定める休学期間を超えて、なお修学できない者
- (4) 長期間に亘り行方不明の者
- (5) 死亡した者

(復籍)

第48条 前条第1項第1号により除籍された者は、除籍後3年以内に限り、学長の許可を得て復籍することができる。

2 復籍について必要な事項は、別に定める。

第12章 卒業及び学位

(卒業)

第49条 学部に4年（第37条第1項及び第38条第1項の規定により入学した者については、第37条第2項及び第38条第2項に定められた修業年数）以上在学し、第19条に定める所定の単位を修得した者については、教授会で審議し、その意見を十分に考慮したうえで、学長が卒業を認定する。

(学位)

第50条 本学は、卒業を認定した者に対して、学士の学位を授与する。

第13章 賞罰

(表彰)

第51条 学生として他の模範となる者に対しては、教授会の議を経て、学長がこれを表彰する。

(懲戒)

第52条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為を為した者は、補導会議の議を経て、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。
- 3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する学生に対して行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
- 4 補導会議については、別に定める。

第14章 学寮

(学寮)

第53条 本学に学寮を置き、学生の教育と厚生に資する。

2 学寮の規程は別に定める。

第15章 厚生施設

(厚生施設)

第54条 本学に厚生補導のための施設として医療室、相談室、食堂等を置く。

2 前項の運営に関し、必要な事項があるときは別に定める。

第16章 研修員、科目等履修生、聴講生及び外国人留学研究生

(研修員)

第55条 本学において本学の研究・教育の目的に沿い、特定の研究課題のもとに研究指導を受けることを希望する者があるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて、選考の上、研修員としてこれを許可することができる。

- 2 研修員の研修費は、別表Ⅱに定める。
- 3 その他研修員に関する必要事項は、別にこれを定める。

(科目等履修生)

第56条 本学において特定の授業科目の履修及び単位の修得を希望する者があるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて、選考の上、科目等履修生としてこれを許可することができる。

- 2 科目等履修生には、本学則第26条及び第31条の規定を準用して、履修した授業科目の単位を与えることができる。
- 3 科目等履修生の選考料、登録料及び履修料は、別表Ⅱに定める。

4 その他科目等履修生に関する必要事項は、別にこれを定める。

(聴講生)

第56条の2 本学において特定の授業科目の聴講を希望する者があるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて、選考の上、聴講生としてこれを許可することができる。

2 聴講生の選考料、登録料及び聴講料は、別表Ⅱに定める。

3 その他聴講生に関する必要事項は、別にこれを定める。

(外国人留学研究)

第56条の3 本学において研究指導を受けることを希望する外国人留学生があるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて、選考の上、教授会の議を経て、外国人留学研究生としてこれを許可することができる。

2 外国人留学研究生の選考料及び研究費等は、別表Ⅱに定める。

3 その他外国人留学研究生に関する必要事項は、別にこれを定める。

第17章 学費及びその他の費用

(学費)

第57条 学生は学費を所定の期日までに納入しなければならない。

2 学費とは入学金、授業料及び施設費をいい、その額は別表Ⅱに定める。

(その他の費用)

第58条 前条第2項に定める学費のほか、実験実習費その他教育に必要な費用を徴収することがある。

(納入期日)

第59条 学費は毎年前期、後期の2回に分け、次の期日までに納入しなければならない。

(1) 前期分 4月20日まで

(2) 後期分 9月30日まで

(延納)

第60条 経済的理由により修学が困難な学生は、学費の全額又は一部を延納することができる。延納を希望する者は、次に定める期日までにその事情を詳記し、保証人連署捺印の上、延納許可願を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(1) 前期分 4月20日まで

(2) 後期分 9月30日まで

第61条 延納の許可を得た者は、次のいずれかの方法により納入しなければならない。

(1) 2回分納(2回に均等分割納入)

(2) 一括納入

第62条 延納の許可を得た者の最終納入期日は、次のとおりとする。

(1) 2回分納

前期分 第1回納入 6月15日まで

第2回納入 7月31日まで

後期分 第1回納入 11月30日まで

第2回納入 1月31日まで

(2) 一括納入

前期分 7月31日まで

後期分 1月31日まで

(学年の途中で卒業する場合の学費)

第63条 前期(9月30日付)をもって卒業する見込みの者は、前期分の学費を所定の期日までに納入しなければならない。

(退学の場合の学費)

第64条 学期の途中で退学する者の当該学期分の学費は納入しなければならない。

(懲戒処分を受けた場合の学費)

第65条 停学期間中の学費は納入しなければならない。

(学費の減免)

第65条の2 修業年限を超えて在学する者で、卒業に必要な単位が8単位以内の不足者は、授業料の5割を減額する。

第66条 休学を許可され、又は命ぜられた者についての当該期間中の学費(入学金を除く。)は、全額を免除する。ただし、別表Ⅱに定める在籍料を納入しなければならない。

第67条 大谷大学短期大学部又は九州大谷短期大学を卒業し、大学へ編入学する者の学費は、入学金に限り、5割を減額する。

2 再入学者の学費は、入学金に限り、5割を減額する。

第68条 学生の保証人が天災又はこれに準ずる非常災害を受けた場合は、その実情を調査の上、学長は該当者の学費(入学金を除く。)を、免除又は減額することができる。

第68条の2 外国人留学生の学業を奨励し、経済的負担を軽減することを目的に、学費の一部を減免することができる。

(学費等の不還付)

第69条 既納の検定料、学費等は、理由のいかんにかかわらず還付しない。

第18章 公開講座

(公開講座)

第70条 学生並びに社会人の教養を高め、文化の向上に資するため本学に公開講座を開設することができる。

付 則

- 1 この学則は、1949年2月21日から施行する。
- 2 この学則は、1952年4月1日から施行する。
- 3 この学則は、1953年4月1日から施行する。
- 4 この学則は、1965年4月1日から施行する。
- 5 この学則は、1972年4月1日から施行する。
- 6 この学則は、1973年4月1日から施行する。
- 7 この学則は、1975年4月1日から施行する。
- 8 この学則は、1976年4月1日から施行する。
- 9 この学則は、1978年4月1日から施行する。
- 10 この学則は、1979年4月1日から施行する。
- 11 この学則は、1980年4月1日から施行する。
- 12 この学則は、1980年7月10日から施行する。
- 13 この学則は、1981年4月1日から施行する。
- 14 この学則は、1981年6月1日から施行する。
- 15 この学則は、1982年4月1日から施行する。
- 16 この学則は、1982年10月1日から施行する。
- 17 この学則は、1983年4月1日から施行する。
- 18 この学則は、1984年4月1日から施行する。
- 19 この学則は、1985年4月1日から施行する。
- 20 この学則は、1986年4月1日から施行する。
- 21 この学則は、1986年6月1日から施行する。
- 22 この学則は、1987年4月1日から施行する。
- 23 この学則は、1988年4月1日から施行する。

24 この学則は、1989年4月1日から施行する。

25 この学則は、1990年4月1日から施行する。

26 この学則は、1991年4月1日から施行する。

第3条の規定にかかわらず、1991年度から1999年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学 科	真宗学科	仏教学科	哲 学 科	社会学科	史 学 科	文 学 科
入学定員	130人	130人	130人	130人	130人	130人

ただし、第20条については、1990年度入学生より適用する。

27 この学則は、1992年4月1日から施行する。

ただし、第18条、第19条及び第25条については、1992年度入学生及び1994年度編入学生から適用する。

28 この学則は、1993年4月1日から施行する。

第3条の規定にかかわらず、1993年度から1999年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学 科	真 宗 学 科	仏 教 学 科	哲学科	社 会 学 科	史学科	文学科	国際文 化学科
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100人	180人

29 この学則は、1994年4月1日から施行する。

ただし、第26条の2及び第26条の3については、1992年度入学生及び1994年度編入学生から適用する。

30 この学則は、1995年4月1日から施行する。

31 この学則は、1995年5月23日から施行する。(別表Ⅱ・入学検定料)

ただし、別表Ⅱ中授業料については、1996年4月1日から施行する。

32 この学則は、1996年4月1日から施行する。

33 この学則は、1997年4月1日から施行する。

ただし、第19条、第25条及び第26条の2については、1997年度入学生及び1999年度編入学生から適用する。

34 この学則は、1998年4月1日から施行する。

35 この学則は、1999年4月1日から施行する。

36 この学則は、2000年4月1日から施行する。

第3条の規定にかかわらず、2000年度から2004年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年度\学科	真宗 学科	仏教 学科	哲学 科	社会 学科	史学 科	文学 科	国際 文化 学科	人文 情報 学科
2000年度	92人	94人	98人	150人	98人	98人	100人	100人
2001年度	89人	88人	91人	150人	91人	91人	100人	100人
2002年度	86人	82人	84人	150人	84人	84人	100人	100人
2003年度	83人	76人	77人	150人	77人	77人	100人	100人
2004年度	80人	70人	70人	150人	70人	70人	100人	100人

- 37 この学則は、2001年4月1日から施行する。
- 38 この学則は、2002年4月1日から施行する。
ただし、第6条については、2002年6月1日から施行する。
- 39 この学則は、2003年4月1日から施行する。
- 40 この学則は、2004年4月1日から施行する。
- 41 この学則は、2004年12月6日に一部改正し、2005年4月1日から施行する。別表Ⅱ中、研修費は2006年度新規受入の研修員から適用する。
- 42 この学則は、2005年3月17日に一部改正し、2005年4月1日から施行する。
ただし、第18条、第19条については、2005年度入学生及び2007年度編入学生から適用する。
- 43 この学則は、2005年9月21日に一部改正し、2006年4月1日から施行する。
- 44 この学則は、2006年3月23日に一部改正し、2006年4月1日から施行する。
- 45 この学則は、2006年12月7日に一部改正し、2007年4月1日から施行する。
- 46 この学則は、2007年3月23日に一部改正し、2007年4月1日から施行する。
- 47 この学則は、2007年3月23日に一部改正し、2008年4月1日から施行する。ただし、第3条、第19条、第20条については、2008年度入学生及び2010年度編入学生から適用する。
- 48 この学則は、2008年3月27日に一部改正し、2008年4月1日から施行する。
- 49 この学則は、2008年3月27日に一部改正し、2009年4月1日から施行する。ただし、第3条、第19条、第20条の2については、2009年度入学生及び2011年度編入学生から適用する。
- 50 この学則は、2008年7月25日に一部改正し、2009年4月1日から施行する。ただし、第19条については、2009年度入学生及び2011年度編入学生から適用する。

- 51 この学則は、2008年10月20日に一部改正し、2009年4月1日から施行する。
- 52 この学則は、2009年3月25日に一部改正し、2009年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－1（第18条関係）2 学科科目 (3) 哲学科、(4) 社会学科及び (9) 教育・心理学科、並びに別表Ⅰ－2（第20条～第22条の2関係）2 「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」（初等科）及び5 「社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目」については、2009年度入学生及び2011年度編入学生から適用する。
- 53 この学則は、2009年5月25日に一部改正し、2010年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－1（第18条関係）2 学科科目 (9) 教育・心理学科、並びに別表Ⅰ－2（第20条～第22条の2関係）1 「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」（中等科）、2 「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」（初等科）については、2010年度入学生及び2012年度編入学生から適用する。
- 54 この学則は、2010年3月25日に一部改正し、2010年4月1日から施行する。
- 55 この学則は、2010年7月15日に一部改正し、2011年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－2（第20条～第22条の2関係）1 「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」（中等科）については、2011年度入学生及び2013年度編入学生から適用する。
- 56 この学則は、2011年3月15日に一部改正し、2011年4月1日から施行する。
- 57 この学則は、2011年10月12日に一部改正し、2012年4月1日から施行する。ただし、別表Ⅰ－2（第20条～第22条の2関係）5 博物館学に関する専門科目及び7 図書館学に関する専門科目については、2012年度入学生及び2012年度編入学生から適用する。
- 58 この学則は、2012年3月27日に一部改正し、2012年4月1日から施行する。
- 59 この学則は、2013年3月25日に一部改正し、2013年4月1日から施行する。ただし、第18条、第19条、第19条の2、並びに別表Ⅰ－1（第18条関係）及び別表Ⅰ－2（第20条～第22条の2関係）8 真宗大谷派教師資格に関する科目については、2013年度入学生及び2015年度編入学生から適用する。
- 60 この学則は、2014年3月24日に一部改正し、2014年4月1日から施行する。ただし、第20条の4、並びに別表Ⅰ－1（第18条関係）2 学科専門科目 (9) 教育・心理学科及び別表Ⅰ－2（第20条～第22条の2関係）3 特別支援教育に関する科目については、2014年度入学生及び2016年度編入学生から適用する。

61 この学則は、2014年3月24日に一部改正し、2015年4月1日から施行する。ただし、第18条別表I-1 2 学科専門科目については、2015年度入学生及び2017年度編入学生から適用する。

62 この学則は、2014年5月23日に一部改正し、2015年4月1日から施行する。

63 この学則は、2015年3月24日に一部改正し、2015年4月1日から施行する。ただし、別表I-1（第18条関係）2 学科専門科目（1）真宗学科、（2）仏教学科、（3）哲学科、（4）社会学科、（5）歴史学科、（7）国際文化学科及び（8）人文情報学科、並びに3 現代総合科目 キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系については、2015年度入学生及び2017年度編入学生から適用する。

64 この学則は、2016年3月24日に一部改正し、2016年4月1日から施行する。ただし、第20条並びに別表I-2（第20条～第22条の2関係）1「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」（中等科）及び2「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」（初等科）については、2016年度入学生及び2018年度編入学生から適用する。

別表I-1（第18条関係）

1 共通基礎科目

（1）総合科目

区分	科目名	単位	備考
総合科目	人間学Ⅰ	2	
〃	人間学Ⅱ	2	

（2）大学導入

区分	科目名	単位	備考
大学導入	学びの発見	2	

（3）外国語科目

区分	科目名	単位	備考
第1外国語	英語	1	
第2外国語	ドイツ語	2	
〃	ドイツ語	1	
〃	フランス語	2	

〃	フランス語	1	
〃	中国語	2	
〃	中国語	1	
〃	韓国・朝鮮語	2	
〃	韓国・朝鮮語	1	
〃	日本語	2	外国人留学生に限る
〃	日本語	1	

2 学科専門科目

（1）真宗学科

科目名	単位	備考
専門の技法＜真宗学＞	2	
真宗学演習Ⅰ	2	
真宗学演習Ⅱ	2	
真宗学演習Ⅲ	2	
真宗学演習Ⅳ	2	
真宗学概論 1	2	
真宗学概論 2	2	
真宗学概論 3	2	
真宗学概論 4	2	
親鸞の生涯と思想	2	
親鸞思想の受容と展開	2	
曇鸞の生涯と思想	2	
善導の生涯と思想	2	
法然の生涯と思想	2	
近代真宗教学論	2	
『教行信証』論	2	
『歎異抄』論	2	
大乘仏教概説	2	
真宗と諸宗教	2	
日本仏教思想史 1	2	
日本仏教思想史 2	2	

現代と真宗	2	
真宗学特殊講義 1	2	
真宗学特殊講義 2	2	
真宗学特殊講義 3	2	
真宗学特殊講義 4	2	
浄土教史概説	2	
真宗教団史	2	
近代教史	2	
真宗典籍研究	2	
宗教学概説	2	
宗教史概論 1	2	
宗教史概論 2	2	
教行信証<総序・教巻>を読む	2	
教行信証<行巻>を読む	2	
教行信証<信巻>を読む	2	
教行信証<証巻>を読む	2	
教行信証<真仏土巻>を読む	2	
教行信証<化身土巻>を読む	2	
無量寿経を読む	2	
観無量寿経を読む	2	
阿弥陀経を読む	2	
浄土論註を読む	2	
観経疏を読む	2	
正信偈を読む	2	
真宗学特殊演習 1	2	
真宗学特殊演習 2	2	
真宗学特殊演習 3	2	
真宗学特殊演習 4	2	
真宗学特殊演習 5	2	
真宗学特殊演習 6	2	
卒業論文	8	

(2) 仏教学科

科目名	単位	備考
専門の技法<仏教学>	2	
仏教学演習 I	2	
仏教学演習 II	2	
仏教学演習 III	2	
仏教学演習 IV	2	
仏教学概論 1	2	
仏教学概論 2	2	
仏教学概論 3	2	
仏教学概論 4	2	
現代仏教論	2	
仏教文化美術論	2	
仏教テキスト論	2	
インド仏教思想史 1	2	
インド仏教思想史 2	2	
中国仏教思想史 1	2	
中国仏教思想史 2	2	
日本仏教思想史 1	2	
日本仏教思想史 2	2	
インド哲学	2	
チベット仏教	2	
死生学	2	
仏教心理学	2	
仏教と社会	2	
仏教神話学	2	
仏教学特殊講義 1	2	
仏教学特殊講義 2	2	
仏教学特殊講義 3	2	
仏教学特殊講義 4	2	
宗教学概説	2	

宗 教 史 概 論 1	2	
宗 教 史 概 論 2	2	
仏 教 学 基 礎 演 習	2	
現 代 仏 教 演 習	2	
文 化 美 術 演 習	2	
仏 教 思 想 演 習	2	
仏 伝 を 読 む	2	
浄 土 経 典 を 読 む	2	
法 華 経 を 読 む	2	
仏 教 学 特 殊 演 習 1	2	
仏 教 学 特 殊 演 習 2	2	
仏 教 学 特 殊 演 習 3	2	
仏 教 学 特 殊 演 習 4	2	
漢 文 文 献 演 習 1	2	
漢 文 文 献 演 習 2	2	
パ ー リ 語 文 献 演 習 1	2	
パ ー リ 語 文 献 演 習 2	2	
パ ー リ 語 文 献 演 習 3	2	
パ ー リ 語 文 献 演 習 4	2	
サ ン ス ク リ ッ ト 語 文 献 演 習 1	2	
サ ン ス ク リ ッ ト 語 文 献 演 習 2	2	
サ ン ス ク リ ッ ト 語 文 献 演 習 3	2	
サ ン ス ク リ ッ ト 語 文 献 演 習 4	2	
チ ベ ッ ト 語 文 献 演 習 1	2	
チ ベ ッ ト 語 文 献 演 習 2	2	
パ ー リ 語	1	
サ ン ス ク リ ッ ト 語 入 門	1	
サ ン ス ク リ ッ ト 語	1	
チ ベ ッ ト 語 入 門	1	
チ ベ ッ ト 語	1	
卒 業 論 文	8	

(3) 哲学科

科 目 名	単 位	備 考
専 門 の 技 法 < 哲 学 >	2	
哲 学 科 演 習 I	2	
哲 学 科 演 習 II	2	
哲 学 科 演 習 III	2	
哲 学 科 演 習 IV	2	
哲 学 概 論 1	2	
哲 学 概 論 2	2	
倫 理 学 概 論 1	2	
倫 理 学 概 論 2	2	
宗 教 学 概 論 1	2	
宗 教 学 概 論 2	2	
西 洋 哲 学 史 (古 代) 1	2	
西 洋 哲 学 史 (古 代) 2	2	
西 洋 哲 学 史 (中 世) 1	2	
西 洋 哲 学 史 (中 世) 2	2	
西 洋 哲 学 史 (近 世) 1	2	
西 洋 哲 学 史 (近 世) 2	2	
日 本 哲 学	2	
人 間 関 係 学	2	
死 生 学	2	
生 命 倫 理	2	
論 理 学 1	2	
論 理 学 2	2	
宗 教 史 1	2	
宗 教 史 2	2	
キ リ ス ト 教 学 1	2	
キ リ ス ト 教 学 2	2	
哲 学 科 特 殊 講 義 1	2	
哲 学 科 特 殊 講 義 2	2	

哲 学 科 特 殊 講 義 3	2	
哲 学 科 特 殊 講 義 4	2	
哲 学 科 特 殊 講 義 5	2	
哲 学 科 特 殊 講 義 6	2	
哲 学 科 特 殊 講 義 7	2	
哲 学 科 特 殊 講 義 8	2	
人 文 地 理 学 1	2	
人 文 地 理 学 2	2	
人 文 地 理 学 3	2	
人 文 地 理 学 4	2	
世 界 地 誌 学 1	2	
世 界 地 誌 学 2	2	
世 界 地 誌 学 3	2	
世 界 地 誌 学 4	2	
法 学 概 論 1	2	
法 学 概 論 2	2	
政 治 学 概 論 1	2	
政 治 学 概 論 2	2	
国 際 関 係 論 1	2	
国 際 関 係 論 2	2	
国 際 政 治 学 1	2	
国 際 政 治 学 2	2	
ギ リ シ ャ 語 入 門 1	1	
ギ リ シ ャ 語 入 門 2	1	
ラ テ ン 語 入 門 1	1	
ラ テ ン 語 入 門 2	1	
ギ リ シ ャ 哲 学 文 献 を 読 む 1	2	
ギ リ シ ャ 哲 学 文 献 を 読 む 2	2	
英 米 哲 学 文 献 を 読 む 1	2	
英 米 哲 学 文 献 を 読 む 2	2	
ド イ ツ 哲 学 文 献 を 読 む 1	2	
ド イ ツ 哲 学 文 献 を 読 む 2	2	

哲 学 科 特 殊 演 習 1	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 2	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 3	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 4	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 5	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 6	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 7	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 8	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 9	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 1 0	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 1 1	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 1 2	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 1 3	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 1 4	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 1 5	2	
哲 学 科 特 殊 演 習 1 6	2	
卒 業 論 文	8	

(4) 社会学科

科 目 名	単 位	備 考
専 門 の 技 法 < 社 会 学 >	2	
社 会 学 科 総 合 演 習 I	2	
社 会 学 演 習 II	2	
社 会 学 演 習 III	2	
社 会 学 演 習 IV	2	
社 会 学 概 論 1	2	
社 会 学 概 論 2	2	
情 報 マーケティング論	2	
消 費 者 行 動 論	2	
心 理 学 概 論 1	2	
心 理 学 概 論 2	2	
経 済 学 概 論 1	2	
経 済 学 概 論 2	2	
法 学 概 論 1	2	

法 学 概 論	2	2	
政 治 学 概 論	1	2	
政 治 学 概 論	2	2	
国 際 政 治 学	1	2	
国 際 政 治 学	2	2	
国 際 関 係 論	1	2	
国 際 関 係 論	2	2	
国 際 経 済 学	1	2	
国 際 経 済 学	2	2	
人 文 地 理 学	1	2	
人 文 地 理 学	2	2	
人 文 地 理 学	3	2	
人 文 地 理 学	4	2	
世 界 地 誌 学	1	2	
世 界 地 誌 学	2	2	
世 界 地 誌 学	3	2	
世 界 地 誌 学	4	2	
社 会 調 査 論		2	
現 代 社 会 論		2	
文 化 人 類 学	1	2	
文 化 人 類 学	2	2	
宗 教 と 社 会		2	
現 代 家 族 論		2	
社 会 問 題 論		2	
地 域 社 会 論		2	
現代社会とコミュニケーション		2	
ア ジ ア 社 会 論		2	
社 会 学 特 殊 講 義		2	
社 会 調 査 実 習 I		2	
社 会 調 査 実 習 II		2	
フ ィ ー ル ド ワ ー ク I		2	
フ ィ ー ル ド ワ ー ク II		2	
社 会 学 特 殊 演 習 1		2	
社 会 学 特 殊 演 習 2		2	
社 会 学 特 殊 演 習 3		2	
社 会 学 特 殊 演 習 4		2	

社 会 学 特 殊 演 習 5	2		
社 会 学 特 殊 演 習 6	2		
社 会 学 特 殊 演 習 7	2		
社 会 学 特 殊 演 習 8	2		
社 会 学 特 殊 演 習 9	2		
公 共 政 策 概 論 1	2		
公 共 政 策 概 論 2	2		
非 営 利 組 織 マ ネ ジ メ ン ト 論	2		
地 方 自 治 論	2		
地 域 政 策 特 殊 講 義	2		
ソ ー シ ャ ル ビ ジ ネ ス 論	2		
N P O ラ ー ニ ン グ 基 礎 I - 1	2		
N P O ラ ー ニ ン グ 基 礎 I - 2	2		
N P O ラ ー ニ ン グ 基 礎 II - 1	2		
N P O ラ ー ニ ン グ 基 礎 II - 2	2		
N P O ラ ー ニ ン グ 実 習	2		
N P O ラ ー ニ ン グ 研 究 I - 1	2		
N P O ラ ー ニ ン グ 研 究 I - 2	2		
N P O ラ ー ニ ン グ 研 究 I - 3	2		
N P O ラ ー ニ ン グ 研 究 II - 1	2		
N P O ラ ー ニ ン グ 研 究 II - 2	2		
N P O ラ ー ニ ン グ 研 究 II - 3	2		
社 会 福 祉 学 演 習 II	2		
社 会 福 祉 学 演 習 III	2		
社 会 福 祉 学 演 習 IV	2		
現 代 社 会 と 福 祉 1	2		
現 代 社 会 と 福 祉 2	2		
心 理 学	2		
社 会 学	2		
社 会 保 障 論 1	2		
社 会 保 障 論 2	2		
高 齢 者 福 祉	2		
障 害 者 福 祉	2		
児 童 福 祉	2		
医 学 一 般	2		

社会福祉調査論	2	
相談援助の基盤と専門職1	2	
相談援助の基盤と専門職2	2	
相談援助の理論と方法1	2	
相談援助の理論と方法2	2	
相談援助の理論と方法3	2	
相談援助の理論と方法4	2	
地域福祉論1	2	
地域福祉論2	2	
福祉行財政と福祉計画	2	
社会福祉施設経営論	2	
公的扶助論	2	
保健医療サービス論	2	
就労支援	1	
権利擁護と成年後見制度	2	
司法福祉論	1	
介護概論	2	
社会福祉援助技術演習1	2	
社会福祉援助技術演習2	2	
社会福祉援助技術演習3	2	
社会福祉援助技術演習4	2	
社会福祉援助技術演習5	2	
社会福祉援助技術現場実習指導I	2	
社会福祉援助技術現場実習指導II	2	
社会福祉援助技術現場実習指導III	2	
社会福祉援助技術現場実習	4	(定められた施設又は事業所において、180時間の実習を行う。)
介護技術	1	
卒業論文	8	

(5) 歴史学科

科目名	単位	備考
-----	----	----

専門の技法<歴史学>	2	
歴史学演習I	2	
歴史学演習II	2	
歴史学演習III	2	
歴史学演習IV	2	
日本史学概論1	2	
日本史学概論2	2	
東洋史学概論1	2	
東洋史学概論2	2	
西洋史学概論1	2	
西洋史学概論2	2	
日本古代史講義1	2	
日本古代史講義2	2	
日本中世史講義1	2	
日本中世史講義2	2	
日本近世史講義1	2	
日本近世史講義2	2	
日本近代史講義1	2	
日本近代史講義2	2	
中国古代史講義1	2	
中国古代史講義2	2	
中国中世史講義1	2	
中国中世史講義2	2	
中国近世・近代史講義1	2	
中国近世・近代史講義2	2	
歴史学特殊講義1	2	
歴史学特殊講義2	2	
歴史学特殊講義3	2	
歴史学特殊講義4	2	
歴史学特殊講義5	2	
歴史学特殊講義6	2	
日本民俗学	2	

中国仏教史	2	
日本仏教史	2	
真宗史	2	
仏教文化史	2	
文化交流史	2	
世界遺産論	2	
京都の歴史と文化	2	
歴史地理学 1	2	
歴史地理学 2	2	
考古学 1	2	
考古学 2	2	
美術史 1	2	
美術史 2	2	
古文書学概論 1	2	
古文書学概論 2	2	
建築史 1	2	
建築史 2	2	
博物館概論	2	
博物館資料論	2	
文化財概論	2	
文化財調査・分析論	2	
文化財保存科学論	2	
文化財修復論	2	
文化財映像化論	2	
人文地理学 1	2	
人文地理学 2	2	
人文地理学 3	2	
人文地理学 4	2	
世界地誌学 1	2	
世界地誌学 2	2	
世界地誌学 3	2	
世界地誌学 4	2	

法学概論 1	2	
法学概論 2	2	
政治学概論 1	2	
政治学概論 2	2	
国際関係論 1	2	
国際関係論 2	2	
国際政治学 1	2	
国際政治学 2	2	
歴史学基礎演習	2	
日本古代史料を読む 1	2	
日本古代史料を読む 2	2	
日本中世史料を読む 1	2	
日本中世史料を読む 2	2	
日本近世史料を読む 1	2	
日本近世史料を読む 2	2	
日本近代史料を読む 1	2	
日本近代史料を読む 2	2	
中国古代史料を読む 1	2	
中国古代史料を読む 2	2	
中国中世史料を読む 1	2	
中国中世史料を読む 2	2	
中国近世・近代史料を読む 1	2	
中国近世・近代史料を読む 2	2	
交流史料を読む 1	2	
交流史料を読む 2	2	
交流史料を読む 3	2	
交流史料を読む 4	2	
古文書解読法 1	4	
古文書解読法 2	4	
古文書演習 1	2	
古文書演習 2	2	
漢文と情報処理	2	

情報と歴史学	2	
歴史学特殊演習1	2	
歴史学特殊演習2	2	
歴史学特殊演習3	2	
歴史学特殊演習4	2	
文化財調査演習1	2	
文化財調査演習2	2	
文化財調査演習3	2	
文化財調査演習4	2	
博物館等施設演習1	2	
博物館等施設演習2	2	
普及・教育演習1	2	
普及・教育演習2	2	
展示実習	2	
卒業論文	8	

(6) 文学科

科目名	単位	備考
専門の技法<文学>	2	
文学科演習Ⅰ	2	
国文学演習Ⅱ	2	
国文学演習Ⅲ	2	
国文学演習Ⅳ	2	
国文学概論1	2	
国文学概論2	2	
国語学概論1	2	
国語学概論2	2	
日本文学の歴史1	2	
日本文学の歴史2	2	
上代文学1	2	
上代文学2	2	
中古文学1	2	
中古文学2	2	
中世文学1	2	

中世文学2	2	
近世文学1	2	
近世文学2	2	
近現代文学1	2	
近現代文学2	2	
文章表現学1	2	
文章表現学2	2	
国文法の研究1	2	
国文法の研究2	2	
日本語特殊講義1	2	
日本語特殊講義2	2	
上代文学を読む1	2	
上代文学を読む2	2	
中古文学を読む1	2	
中古文学を読む2	2	
中世文学を読む1	2	
中世文学を読む2	2	
近世文学を読む1	2	
近世文学を読む2	2	
近現代文学を読む1	2	
近現代文学を読む2	2	
近現代文学を読む3	2	
近現代文学を読む4	2	
古典文学特殊演習1	2	
古典文学特殊演習2	2	
鑑賞日本の古典文学1	2	
鑑賞日本の古典文学2	2	
日本古典文法1	1	
日本古典文法2	1	
中国文学演習Ⅱ	2	
中国文学演習Ⅲ	2	
中国文学演習Ⅳ	2	
中国文学概論1	2	
中国文学概論2	2	
中国語学概論1	2	
中国語学概論2	2	
中国文学史1	2	

中国文学史 2	2	
中国文学史 3	2	
中国文学史 4	2	
中国思想史 1	2	
中国思想史 2	2	
中国言語学史 1	2	
中国言語学史 2	2	
中国の書物と印刷術 1	2	
中国の書物と印刷術 2	2	
中国文学特殊講義 1	2	
中国文学特殊講義 2	2	
中国の詩を読む 1	2	
中国の詩を読む 2	2	
中国の散文作品を読む 1	2	
中国の散文作品を読む 2	2	
中国の近現代文を読む 1	2	
中国の近現代文を読む 2	2	
思想文献を読む 1	2	
思想文献を読む 2	2	
中国文学特殊演習 1	2	
中国文学特殊演習 2	2	
漢文訓読法 1	1	
漢文訓読法 2	1	
英文学演習 II	2	
英文学演習 III	2	
英文学演習 IV	2	
英文学概論 1	2	
英文学概論 2	2	
英語学概論 1	2	
英語学概論 2	2	
西洋文学の源流 1	2	
西洋文学の源流 2	2	
比較文化講義 1	2	
比較文化講義 2	2	
英米の文化 1	2	
英米の文化 2	2	
英語のしくみ 1	2	

英語のしくみ 2	2	
アメリカの小説 1	2	
アメリカの小説 2	2	
イギリスの小説 1	2	
イギリスの小説 2	2	
英米文学特殊講義 1	2	
英米文学特殊講義 2	2	
西ヨーロッパの文化 1	2	
西ヨーロッパの文化 2	2	
英語コミュニケーション演習 1	2	
英語コミュニケーション演習 2	2	
英語コミュニケーション演習 3	2	
英語コミュニケーション演習 4	2	
英米の詩と演劇を読む 1	2	
英米の詩と演劇を読む 2	2	
英米文学特殊演習 1	2	
英米文学特殊演習 2	2	
ドイツ文学演習 II	2	
ドイツ文学演習 III	2	
ドイツ文学演習 IV	2	
ドイツ文学概論 1	2	
ドイツ文学概論 2	2	
ドイツ語学概論 1	2	
ドイツ語学概論 2	2	
西洋文学の源流 1	2	
西洋文学の源流 2	2	
ドイツ詩人とその世界 1	2	
ドイツ詩人とその世界 2	2	
ドイツ近現代文学 1	2	
ドイツ近現代文学 2	2	
ドイツ文学特殊講義 1	2	
ドイツ文学特殊講義 2	2	
ドイツ文学特殊講義 3	2	
ドイツ文学特殊講義 4	2	
ドイツ文学読解 1	2	
ドイツ文学読解 2	2	
ドイツ文学特殊演習 1	2	

ドイツ文学特殊演習 2	2	
ドイツ語コミュニケーション演習1	2	
ドイツ語コミュニケーション演習2	2	
ドイツ語コミュニケーション演習3	2	
ドイツ語コミュニケーション演習4	2	
卒業論文	8	

(7) 国際文化学科

科目名	単位	備考
専門の技法<国際文化学>	2	
国際文化演習 I	2	
国際文化演習 II	2	
国際文化演習 III	2	
国際文化演習 IV	2	
国際文化概論 1	2	
国際文化概論 2	2	
国際文化概論 3	2	
比較文化講義 1	2	
比較文化講義 2	2	
近代日本と西洋 1	2	
近代日本と西洋 2	2	
英米の文化 1	2	
英米の文化 2	2	
英米の文化 3	2	
英米の文化 4	2	
英米の文化 5	2	
英米の文化 6	2	
英語学概論 1	2	
英語学概論 2	2	
英語のしくみ 1	2	
英語のしくみ 2	2	
西ヨーロッパの文化 1	2	
西ヨーロッパの文化 2	2	

東アジアの文化 1	2	
東アジアの文化 2	2	
南アジアの文化 1	2	
南アジアの文化 2	2	
アジア社会論	2	
日本ポップカルチャー論	2	
環境文明論 1	2	
環境文明論 2	2	
環境と文化 1	2	
環境と文化 2	2	
国際文化特殊講義 1	2	
国際文化特殊講義 2	2	
国際文化特殊講義 3	2	
国際文化特殊講義 4	2	
国際文化特殊講義 5	2	
英語基礎演習	2	
英語コミュニケーション演習 1	2	
英語コミュニケーション演習 2	2	
英語コミュニケーション演習 3	2	
英語コミュニケーション演習 4	2	
英語コミュニケーション演習 5	2	
英語コミュニケーション演習 6	2	
英語コミュニケーション演習 7	2	
英語コミュニケーション演習 8	2	
英語コミュニケーション演習 9	2	
英語コミュニケーション演習 10	2	
英語コミュニケーション演習 11	2	
英語コミュニケーション演習 12	2	
ドイツ語コミュニケーション演習 1	2	
ドイツ語コミュニケーション演習 2	2	
ドイツ語コミュニケーション演習 3	2	
ドイツ語コミュニケーション演習 4	2	

フランス語コミュニケーション演習1	2	
フランス語コミュニケーション演習2	2	
フランス語コミュニケーション演習3	2	
フランス語コミュニケーション演習4	2	
サンスクリット語文献演習1	2	
サンスクリット語文献演習2	2	
サンスクリット語文献演習3	2	
サンスクリット語文献演習4	2	
チベット語文献演習1	2	
チベット語文献演習2	2	
中国語コミュニケーション演習1	2	
中国語コミュニケーション演習2	2	
中国語コミュニケーション演習3	2	
中国語コミュニケーション演習4	2	
韓国・朝鮮文化演習1	2	
韓国・朝鮮文化演習2	2	
表現文化演習1	2	
表現文化演習2	2	
野外調査演習1	2	
野外調査演習2	2	
サンスクリット語入門	1	
サンスクリット語	1	
チベット語入門	1	
チベット語	1	
ヒンディー語	1	
卒業論文	8	

(8) 人文情報学科

科目名	単位	備考
専門の技法<人文情報学>	2	
人文情報学演習Ⅰ	2	
人文情報学演習Ⅱ	2	

メディア表現学演習Ⅲ	2	
情報マネジメント演習Ⅲ	2	
メディア表現学演習Ⅳ	2	
情報マネジメント演習Ⅳ	2	
人文情報学概論	2	
コンピュータ概論	2	
プログラミング論	2	
データベース概論	2	
デジタルコンテンツ論	2	
情報文化論	2	
情報検索概論	2	
情報産業論	2	
情報経営戦略論	2	
情報マーケティング論	2	
情報プロジェクトマネジメント	2	
情報社会の権利と法律	2	
情報社会論	2	
情報倫理論	2	
人工現実論	2	
情報表現学テキスト処理論	2	
ネットワーク論	2	
図書館情報技術論	2	
古文書学概論1	2	
古文書学概論2	2	
文化財保存科学論	2	
中国の書物と印刷術1	2	
中国の書物と印刷術2	2	
日本ポップカルチャー論	2	
論理学1	2	
論理学2	2	
地域福祉論1	2	

地域福祉論 2	2	
大乘仏教概説	2	
人文情報学特殊講義 1	2	
人文情報学特殊講義 2	2	
人文情報学特殊講義 3	2	
人文情報学特殊講義 4	2	
人文情報学基礎演習 I	4	
人文情報学基礎演習 II	4	
3DCG作成演習 1	2	
3DCG作成演習 2	2	
DTP演習	2	
Webコンテンツ作成演習 1	2	
Webコンテンツ作成演習 2	2	
映像作成演習	2	
漢文と情報処理	2	
情報と歴史学	2	
Unix演習 1	2	
Unix演習 2	2	
データベース演習 1	2	
データベース演習 2	2	
データベース演習 3	2	
デジタルライブラリー実践演習 1	2	
デジタルライブラリー実践演習 2	2	
デスクトップミュージック演習 1	2	
デスクトップミュージック演習 2	2	
ネットワーク演習 1	2	
ネットワーク演習 2	2	
プログラミング演習 1	2	
プログラミング演習 2	2	
プログラミング演習 3	2	
プログラミング演習 4	2	

統計処理演習	2	
情報表現学特殊演習 1	2	
情報表現学特殊演習 2	2	
情報表現学特殊演習 3	2	
情報表現学特殊演習 4	2	
情報表現学特殊演習 5	2	
情報表現学特殊演習 6	2	
情報表現学特殊演習 7	2	
情報表現学特殊演習 8	2	
情報表現学特殊演習 9	2	
情報表現学特殊演習 10	2	
卒業論文	8	

(9) 教育・心理学科

科目名	単位	備考
専門の技法<教育・心理学>	2	
教育・心理学演習 I	2	
教育・心理学演習 II	2	
教育・心理学演習 III	2	
教育・心理学演習 IV	2	
教育原論 (小)	2	
教育原論 (幼)	2	
教育心理学概論	2	
仏教と教育 (初等)	2	
教育人間学 I	2	
教育人間学 II	2	
教職入門 (小)	2	
教育心理学 (小)	2	
発達心理学 (小)	2	
教育社会学 (小)	2	
教育行財政学 (小)	2	
教育課程論 (小)	2	

特別活動論（小）	2	
教育方法論（小）	2	
生徒・進路指導論（小）	2	
教育相談（小）	2	
こども教育史Ⅰ	2	
こども教育史Ⅱ	2	
教育学概論Ⅰ	2	
教育学概論Ⅱ	2	
臨床教育学Ⅰ	2	
臨床教育学Ⅱ	2	
初等教育実践論Ⅰ	2	
初等教育実践論Ⅱ	2	
教職入門（幼）	2	
教育心理学（幼）	2	
発達心理学（幼）	2	
教育社会学（幼）	2	
教育課程論（幼）	2	
教育方法論（幼）	4	
教育相談（幼）	2	
特別支援教育総論	2	
知的障害者の心理・生理・病理	2	
肢体不自由者の心理・生理・病理	2	
病弱者の心理・生理・病理	2	
知的障害者教育基礎論	2	
肢体不自由者教育基礎論	2	
病弱者教育基礎論	2	
視覚障害者の心理・生理・病理	1	
聴覚障害者の心理・生理・病理	1	
視覚障害者教育基礎論	1	
聴覚障害者教育基礎論	1	
重複障害教育総論	1	
L D 等教育総論	1	
心理学研究法	2	
臨床心理学	2	

発達臨床心理学	2	
授業心理学	2	
児童の描画分析	2	
教室の心理学	2	
障害児心理学	2	
教育実習指導（小）	1	
教育実習Ⅰ（小）	4	
教育実習Ⅱ（小）	2	
教職実践演習（初等）	2	
初等科教育法（国語）	2	
初等科教育法（社会）	2	
初等科教育法（算数）	2	
初等科教育法（理科）	2	
初等科教育法（生活）	2	
初等科教育法（音楽）	2	
初等科教育法（図画工作）	2	
初等科教育法（家庭）	2	
初等科教育法（体育）	2	
初等科教育法（外国語活動）	2	
道徳教育の理論と方法1（小）	2	
道徳教育の理論と方法2（小）	2	
教科（国語）	2	
教科（社会）	2	
教科（算数）	2	
教科（理科）	2	
教科（生活）	2	
教科（音楽）	2	
教科（図画工作）	2	
教科（家庭）	2	
教科（体育）	2	
教科（外国語活動）	2	
教育実習指導（幼）	1	

教育実習Ⅰ(幼)	4	
教育実習Ⅱ(幼)	2	
保育内容(健康)の理論と方法Ⅰ	2	
保育内容(健康)の理論と方法Ⅱ	2	
保育内容(人間関係)の理論と方法	2	
保育内容(環境)の理論と方法	2	
保育内容(言葉)の理論と方法	2	
保育内容(総合表現)の理論と方法	2	
国語(幼)	2	
算数(幼)	2	
体育(幼)	2	
音楽Ⅰ(幼)	2	
音楽Ⅱ(幼)	2	
図画工作(幼)	2	
知的障害者指導法	2	
肢体不自由者指導法	2	
病弱者指導法	2	
特別支援教育実習指導	1	
特別支援教育実習	2	
心理学実験実習Ⅰ	1	
心理学実験実習Ⅱ	1	
心理検査実習Ⅰ	1	
心理検査実習Ⅱ	1	
臨床心理学実習Ⅰ	1	
臨床心理学実習Ⅱ	1	
心理統計Ⅰ	1	
心理統計Ⅱ	1	
教育心理学講読Ⅰ	2	
教育心理学講読Ⅱ	2	
卒業論文	8	

科目名	単位	備考
英語読解(初級) 1	1	
英語読解(初級) 2	1	
英語読解(初級) 3	1	
英語読解(初級) 4	1	
英語読解(初級) 5	1	
英語読解(初級) 6	1	
英語読解(初級) 7	1	
英語読解(初級) 8	1	
英語会話(初級) 1	1	
英語会話(初級) 2	1	
英語会話(初級) 3	1	
英語会話(初級) 4	1	
英語会話(初級) 5	1	
英語会話(初級) 6	1	
英語会話(初級) 7	1	
英語会話(初級) 8	1	
英語会話(初級) 9	1	
英語会話(初級) 10	1	
英語会話(初級) 11	1	
英語会話(初級) 12	1	
英語会話(初級) 13	1	
英語会話(初級) 14	1	
英語会話(初級) 15	1	
英語会話(初級) 16	1	
英作文(初級) 1	1	
英作文(初級) 2	1	
英文法(初級) 1	1	
英文法(初級) 2	1	
英語読解(中級) 1	1	
英語読解(中級) 2	1	
英語読解(中級) 3	1	

3 現代総合科目

コミュニケーション系

英語読解（中級）	4	1	
英作文（中級）	1	1	
英作文（中級）	2	1	
英文法（中級）	1	1	
英文法（中級）	2	1	
英語のしくみと表現（中級）	1	1	
英語のしくみと表現（中級）	2	1	
英語会話（中級）	1	1	
英語会話（中級）	2	1	
英語会話（中級）	3	1	
英語会話（中級）	4	1	
英語会話（中級）	5	1	
英語会話（中級）	6	1	
英語読解（上級）	1	1	
英語読解（上級）	2	1	
英語読解（上級）	3	1	
英語読解（上級）	4	1	
英語会話（上級）	1	1	
英語会話（上級）	2	1	
英語会話（上級）	3	1	
英語会話（上級）	4	1	
英作文（上級）	1	1	
英作文（上級）	2	1	
英文法（上級）	1	1	
英文法（上級）	2	1	
インテンシブ英会話（中級）	1	4	
インテンシブ英会話（中級）	2	4	
イギリス文化研究・実践英語		4	
カナダ文化研究・実践英語		4	
ドイツ語読解（初級）	1	1	
ドイツ語読解（初級）	2	1	
ドイツ語会話（初級）	1	1	

ドイツ語会話（初級）	2	1	
ドイツ語のしくみと表現（初級）	1	1	
ドイツ語のしくみと表現（初級）	2	1	
ドイツ語読解（中級）	1	1	
ドイツ語読解（中級）	2	1	
ドイツ語読解（上級）	1	1	
ドイツ語読解（上級）	2	1	
インテンシブドイツ語会話（初級）	1	2	
インテンシブドイツ語会話（初級）	2	2	
フランス語読解（初級）	1	1	
フランス語読解（初級）	2	1	
フランス語会話（初級）	1	1	
フランス語会話（初級）	2	1	
フランス語読解（中級）	1	1	
フランス語読解（中級）	2	1	
フランス語会話（中級）	1	1	
フランス語会話（中級）	2	1	
フランス語のしくみと表現（中級）		1	
フランス語のしくみと表現（上級）		1	
フランス語のしくみと表現（初級）	1	2	
フランス語のしくみと表現（初級）	2	2	
中国語読解（初級）	1	1	
中国語読解（初級）	2	1	
中国語読解（初級）	3	1	
中国語読解（初級）	4	1	
中国語会話（初級）	1	1	
中国語会話（初級）	2	1	
中国語会話（初級）	3	1	
中国語会話（初級）	4	1	
中国語のしくみと表現（初級）	1	1	
中国語のしくみと表現（初級）	2	1	
中国語読解（中級）	1	1	

中国語読解（中級）	2	1	
中国語会話（中級）	1	1	
中国語会話（中級）	2	1	
中国語のしくみと表現（中級）	1	1	
中国語のしくみと表現（中級）	2	1	
中国語会話（上級）	1	1	
中国語会話（上級）	2	1	
中国文化事情・実践中国語	1	4	
中国文化事情・実践中国語	2	4	
韓国・朝鮮語読解（初級）	1	1	
韓国・朝鮮語読解（初級）	2	1	
韓国・朝鮮語会話（初級）	1	1	
韓国・朝鮮語会話（初級）	2	1	
韓国・朝鮮語のしくみと表現（初級）	1	1	
韓国・朝鮮語のしくみと表現（初級）	2	1	
韓国・朝鮮語読解（中級）	1	1	
韓国・朝鮮語読解（中級）	2	1	
韓国・朝鮮語会話（中級）	1	1	
韓国・朝鮮語会話（中級）	2	1	
韓国・朝鮮語読解（上級）	1	1	
韓国・朝鮮語読解（上級）	2	1	
韓国文化研究・実践韓国語		4	

生活問題論	2		
家庭福祉論	2		
市民活動論	2		
ボランティア論	2		
社会福祉発達史	2		
発想から表現へ	2		
思考法入門	2		
日本語表現（入門）	1	2	
日本語表現（入門）	2	2	
日本語表現（実践）		2	
読んで話そう	2		
自己表現の技法	2		
文藝塾講義	1	2	
文藝塾講義	2	2	
文藝塾演習	1	2	
文藝塾演習	2	2	
探究基礎演習	2		
インターンシップ1大学コンソ京都	2		
インターンシップ2大谷大学	2		
インターンシップ3学校（教職）	2		
キャリアデザイン概論	1	2	
キャリアデザイン概論	2	2	
キャリアデザイン実践	1	2	
キャリアデザイン実践	2	2	
デジタル人文学概論	2		
情報科学	2		
情報メディアと社会	2		
人文学とコンピュータ	2		
デジタル時代の知的財産権	2		
ワード・プロセッシング入門	2		
ワード・プロセッシング応用	2		
PC利用による表計算入門	2		

キャリア形成系

科目名	単位	備考
図書の文化	1	2
図書の文化	2	2
日本国憲法	1	2
日本国憲法	2	2
日本国憲法	3	2
社会政策	2	
社会福祉概論	2	

PC利用による表計算応用	2	
PC利用によるプレゼンテーション	2	
PC利用によるレポート・論文技法	2	
画像処理入門	2	
画像処理応用	2	
PCミュージック入門	2	
PCミュージック応用	2	
Webサイト構築入門	2	
Webサイト構築応用	2	
人文学データベース入門	2	

自然生命系

科目名	単位	備考
自然地理学 1	2	
自然地理学 2	2	
看取りをめぐる諸問題	2	
星の世界 1	2	
星の世界 2	2	
生命のしくみと多様性	2	
自然と生物の科学	2	
地震と火山 1	2	
地震と火山 2	2	
地球科学 1	2	
地球科学 2	2	
惑星科学 1	2	
惑星科学 2	2	
地球環境と生命の共進化	2	
化石の科学	2	
こころの科学	2	
人間理解の心理学	2	
人間関係の心理学 1	2	
人間関係の心理学 2	2	

行動の科学 1	2	
行動の科学 2	2	
スポーツと健康の科学 1	2	
スポーツと健康の科学 2	2	
犯罪心理学	2	
脳とこころ	2	
からだの科学	2	
障害者スポーツ論	2	
生涯スポーツ・レクリエーション活動	2	
スポーツ研究演習 I	2	
障害者スポーツ研究演習 I	2	
スポーツ研究演習 II	2	
障害者スポーツ研究演習 II	2	
カウンセリング	2	
健康心理学	2	
コミュニケーションの心理学	2	
身体活動 I	1	
身体活動 I (障害者スポーツ)	1	
身体活動 II	1	
身体活動 II (障害者スポーツ)	1	
人間関係と身体表現	2	
障害者・病者と共に生きる	2	

歴史文化系

科目名	単位	備考
ドイツの言語文化 1	2	
ドイツの言語文化 2	2	
ドイツの歴史と文学 1	2	
ドイツの歴史と文学 2	2	
ドイツの民衆文化 1	2	
ドイツの民衆文化 2	2	
フランスの言語文化 1	2	

フランスの言語文化 2	2	
フランスの歴史と文学 1	2	
フランスの歴史と文学 2	2	
フランスの民衆文化 1	2	
フランスの民衆文化 2	2	
中国の言語文化 1	2	
中国の言語文化 2	2	
中国の歴史と文学 1	2	
中国の歴史と文学 2	2	
中国の民衆文化 1	2	
中国の民衆文化 2	2	
ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)	2	
ヨーロッパの宗教と文化(フランス)	2	
ヒマラヤの祈り	2	
チベットを見た日本人たち	2	
モンゴル草原の祈り	2	
朝鮮半島の美術	2	
現代朝鮮半島事情	2	
現代東南アジア事情	2	
東南アジアの宗教文化	2	
インドの神々	2	
インドの美術	2	
漢字の世界	2	
近代日本とアジア	2	
東アジアの宗教文化	2	
古都の歴史と文化	2	
仏教と美術	2	
インドの宗教と文化	2	
中国の宗教と文化	2	
人と文化	2	
人と社会	2	
人と宗教	2	

教育学 1	2	
教育学 2	2	
大学での学びを知る	2	
芸術表現	2	
書道	2	
ブッダに学ぶ	2	
親鸞に学ぶ	2	
部落差別と大谷派教団 1	2	
部落差別と大谷派教団 2	2	
部落差別と浄土真宗 1	2	
部落差別と浄土真宗 2	2	
部落史論 1	2	
部落史論 2	2	
反カースト運動論	2	
アイヌ民族と共に	2	
アジア侵略と宗教	2	
ジェンダー論	2	
非戦の系譜	2	
仏教福祉論	2	

別表I-2 (第20条~第22条の2関係)

1 「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」(中等科)

免許状の種類 単位数	最低修得単位数					
	中学校教諭一種			高等学校教諭一種		
	必修	選択	備考	必修	選択	備考
施行規則第66条の6に定める科目の概要						
体育実技1(中・高)	1			1		
体育実技2(中・高)	1		いずれか	1		いずれか
体育実技3(中・高)	1		1単位必修	1		1単位必修
体育実技4(中・高)	1			1		

体育実技 5 (中・高)	1		1	
体育実技 6 (中・高)	1		1	
体育実技 7 (中・高)	1		1	
体育実技 11 (中・高)	1		1	
体育実技 12 (中・高)	1		1	
体育実技 13 (中・高)	1		1	
体育実技 14 (中・高)	1		1	
体育実技 15 (中・高)	1		1	
体育実技 16 (中・高)	1		1	
体育実技 17 (中・高)	1		1	
スポーツと健康の科学 1	2		2	
スポーツと健康の科学 2	2	いずれか	2	いずれか
生涯スポーツ・レクリエーション活動	2	2単位必修	2	2単位必修
人間関係と身体表現	2		2	
情報リテラシー 1 (中・高)	2		2	
情報リテラシー 2 (中・高)	2	いずれか	2	いずれか
情報リテラシー 3 (中・高)	2	2単位必修	2	2単位必修
情報リテラシー 4 (中・高)	2		2	
情報リテラシー 5 (中・高)	2		2	
教職に関する科目				
教職入門 1 (中・高)	2	いずれか	2	いずれか
教職入門 2 (中・高)	2	2単位必修	2	2単位必修
教育原論 1 (中・高)	2	いずれか	2	いずれか
教育原論 2 (中・高)	2	2単位必修	2	2単位必修
仏教と教育 (中・高)	2		2	
教育心理学 1 (中・高)	2		2	
教育心理学 2 (中・高)	2	いずれか	2	いずれか
青年心理学 1 (中・高)	2	2単位必修	2	2単位必修
青年心理学 2 (中・高)	2		2	
教育行財政学 1 (中・高)	2		2	
教育行財政学 2 (中・高)	2	いずれか	2	いずれか

教育社会学 1 (中・高)	2	2単位必修	2	2単位必修
教育社会学 2 (中・高)	2		2	
教育課程論 (中・高)	2		2	
教育方法論 1 (中・高)	2	いずれか	2	いずれか
教育方法論 2 (中・高)	2	2単位必修	2	2単位必修
宗教科教育法 I	2		2	
宗教科教育法 II	2	いずれか	2	いずれか
宗教科教育法 III	2	4単位必修	2	2単位必修
宗教科教育法 IV	2		2	
中社・地歴科教育法 I	2		2	
中社・公民科教育法 I	2	いずれか	2	
中社・地歴科教育法 II	2	6単位必修	2	
中社・公民科教育法 II	2		2	
国語科教育法 I	2		2	
国語科教育法 II	2	いずれか	2	いずれか
国語科教育法 III	2	4単位必修	2	2単位必修
国語科教育法 IV	2		2	
英語科教育法 I	2		2	
英語科教育法 II	2	いずれか	2	いずれか
英語科教育法 III	2	4単位必修	2	2単位必修
英語科教育法 IV	2		2	
道徳教育の研究 (中・高)	2			
生徒・進路指導論 (中・高)	2		2	
教育相談 (中・高)	2		2	
教育実習 1 (中・高) (事前・事後指導を含む)	5		5	いずれか 必修
教育実習 2 (中・高) (事前・事後指導を含む)			3	
教職実践演習 (中・高)	2		2	
教科又は教職に関する科目				
部落史論 1	2		2	
部落史論 2	2		2	

反カースト運動論	2		いずれか	2		いずれか
アイヌ民族と共に	2		2単位必修	2		2単位必修
障害者・病者と共に生きる	2			2		
アジア侵略と宗教	2			2		
非戦の系譜	2			2		
道徳教育の研究(中・高)					2	

2 「教科に関する科目」「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」
(初等科)

授業科目	免許状の種類 単位数		最低修得単位数					
			小学校教諭一種		幼稚園教諭一種			
	必修	選択	必修	選択	備考	必修	選択	備考
施行規則第66条の6に定める科目								
体育実技(初等)1	1		いずれか 1単位必修	1		いずれか 1単位必修		
体育実技(初等)2	1			1				
体育実技(初等)3	1			1				
体育実技(初等)11	1			1				
体育実技(初等)12	1			1				
体育実技(初等)13	1			1				
スポーツと健康の科学1	2		いずれか 2単位必修	2		いずれか 2単位必修		
スポーツと健康の科学2	2			2				
生涯スポーツ・レクリエーション活動	2			2				
人間関係と身体表現	2			2				
情報リテラシー(初等)1	2		いずれか 2単位必修	2		いずれか 2単位必修		
情報リテラシー(初等)2	2			2				
情報リテラシー(初等)3	2			2				
教科に関する科目								
国語(幼)				2		いずれか 2単位必修		
算数(幼)				2				
体育(幼)				2				

音楽Ⅰ(幼)				2				
音楽Ⅱ(幼)				2				
図画工作(幼)				2				
教科(国語)	2							
教科(社会)	2							
教科(算数)	2							
教科(理科)	2							
教科(生活)	2							
教科(音楽)	2							
教科(図画工作)	2							
教科(家庭)	2							
教科(体育)	2							
教職に関する科目								
教職入門(小)	2							
教育原論(小)	2							
仏教と教育(初等)	2				2			
こども教育史Ⅰ		2					2	
こども教育史Ⅱ		2						2
教育学概論Ⅰ		2						2
教育学概論Ⅱ		2						2
臨床教育学Ⅰ		2						2
臨床教育学Ⅱ		2						2
教育心理学(小)	2		いずれか					
発達心理学(小)	2		2単位必修					
教育心理学概論	2							2
教育社会学(小)	2		いずれか 2単位必修					
教育行財政学(小)	2							
教育課程論(小)	2							
初等科教育法(国語)	2							
初等科教育法(社会)	2							

初等科教育法(算数)	2				
初等科教育法(理科)	2				
初等科教育法(生活)	2				
初等科教育法(音楽)	2				
初等科教育法(図画工作)	2				
初等科教育法(家庭)	2				
初等科教育法(体育)	2				
道徳教育の理論と方法1(小)	2	いずれか 2単位必修			
道徳教育の理論と方法2(小)	2				
特別活動論(小)	2				
教育方法論(小)	2				
生徒・進路指導論(小)	2				
教育相談(小)	2				
教育実習指導(小)	1				
教育実習Ⅰ(小)	4	いずれか 必修			
教育実習Ⅱ(小)	2				
教職実践演習(初等)	2		2		
教職入門(幼)			2		
教育原論(幼)			2		
教育心理学(幼)				2	いずれか 2単位必修
発達心理学(幼)				2	
教育社会学(幼)			2		
教育課程論(幼)			2		
保育内容(健康)の理論と方法Ⅰ			2		
保育内容(健康)の理論と方法Ⅱ			2		
保育内容(人間関係)の理論と方法			2		
保育内容(環境)の理論と方法			2		
保育内容(言葉)の理論と方法			2		
保育内容(総合表現)の理論と方法			2		
教育方法論(幼)			4		

教育相談(幼)				2		
教育実習指導(幼)				1		
教育実習Ⅰ(幼)				4	いずれか 必修	
教育実習Ⅱ(幼)				2		
教科又は教職に関する科目						
教育人間学Ⅰ		2				2
教育人間学Ⅱ		2				2
初等教育実践論Ⅰ		2				2
初等教育実践論Ⅱ		2				2
授業心理学		2				2
児童の描画分析		2				2
教室の心理学		2				2
障害児心理学		2				2
初等科教育法(外国語活動)		2				
教科(外国語活動)		2				
教育心理学講読Ⅰ		2				2
教育心理学講読Ⅱ		2				2
部落史論1		2	いずれか 2単位必修			2
部落史論2		2				2
反カースト運動論		2				2
アイヌ民族と共に		2				2
障害者・病者と共に生きる		2				2
アジア侵略と宗教		2				2
非戦の系譜		2				2

備考

- 1 教科別の教育法は受けようとする免許教科ごとにそれぞれ履修しなければならない。
- 2 教科又は教職に関する科目については、「教科に関する科目」・「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」の内から、中学校教諭1種については8単位以上、高等学校教諭1種については16単位以上を履修しなければならない。

3 「特別支援教育に関する科目」

授業科目	免許状の種類 単位数		最低修得単位数	
	特別支援学校教諭一種 (知的障害者・肢体不自由者・病弱者)		必修	選択
	備考	備考		
特別支援教育総論	2			選択科目より いずれか2科目 選択必修
知的障害者の心理・生理・病理	2			
肢体不自由者の心理・生理・病理	2			
病弱者の心理・生理・病理	2			
知的障害者教育基礎論	2			
知的障害者指導法		2		
肢体不自由者教育基礎論	2			
肢体不自由者指導法		2		
病弱者教育基礎論	2			
病弱者指導法		2		
視覚障害者の心理・生理・病理	1			
聴覚障害者の心理・生理・病理	1			
視覚障害者教育基礎論	1			
聴覚障害者教育基礎論	1			
重複障害者教育総論	1			
L D 等教育総論	1			
特別支援教育実習指導	1			
特別支援教育実習	2			

4 学校図書館司書教諭に関する科目

区分	授業科目	単位数
必修科目	学校経営と学校図書館	2
	学校図書館メディアの構成	2
	学習指導と学校図書館	2
	読書と豊かな人間性	2
	情報メディアの活用	2

5 社会教育に関する専門科目

授業科目	単位数
生涯学習概論	4
社会教育計画	4
社会教育演習、社会教育実習又は 社会教育課題研究のうち1以上の科目	4
社会教育特講 社会教育特講Ⅰ（現代社会と社会教育） 社会教育特講Ⅱ（社会教育活動・事業・施設） 社会教育特講Ⅲ（その他必要な科目）	12

6 博物館学に関する専門科目

区分	授業科目	単位数	備考	
必修科目	生涯学習概論	2		
	博物館概論	2		
	博物館資料論	2		
	文化財保存科学論	2		
	博物館経営論	2		
	博物館情報・メディア論	2		
	博物館教育論	2		
	博物館展示論	2		
	博物館実習	3		
	展示実習	2		
古文書解読法	4			
選択科目	A群	文化史	2	選択科目については、A群から4単位、B群から4単位、計8単位以上履修しなければならない。
		文化交流史	2	
		文化人類学	2	
	B群	美術史	2	
		考古学	2	
		民俗学	2	
	古文書学	2		

7 社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目

授 業 科 目	単位数	備考
医 学 一 般	2	
心 理 学	2	
社 会 学	2	
現 代 社 会 と 福 祉 1	2	
現 代 社 会 と 福 祉 2	2	
社 会 福 祉 調 査 論	2	
相 談 援 助 の 基 盤 と 専 門 職 1	2	
相 談 援 助 の 基 盤 と 専 門 職 2	2	
相 談 援 助 の 理 論 と 方 法 1	2	
相 談 援 助 の 理 論 と 方 法 2	2	
相 談 援 助 の 理 論 と 方 法 3	2	
相 談 援 助 の 理 論 と 方 法 4	2	
地 域 福 祉 論 1	2	
地 域 福 祉 論 2	2	
福 祉 行 財 政 と 福 祉 計 画	2	
社 会 福 祉 施 設 経 営 論	2	
社 会 保 障 論 1	2	
社 会 保 障 論 2	2	
高 齢 者 福 祉	2	
介 護 概 論	2	
障 害 者 福 祉	2	
児 童 福 祉	2	
公 的 扶 助 論	2	
保 健 医 療 サ ー ビ ス 論	2	
就 労 支 援	1	
権 利 擁 護 と 成 年 後 見 制 度	2	
司 法 福 祉 論	1	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 1	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 2	2	

社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 3	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 4	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 5	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習 指 導 I	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習 指 導 II	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習 指 導 III	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習	4	(定められた施設又は事業所において、180時間の実習を行う。)

8-1 図書館学に関する専門科目

区分	授 業 科 目	単位数
必 修 科 目	生 涯 学 習 概 論	2
	図 書 館 概 論	2
	図 書 館 制 度 ・ 経 営 論	2
	図 書 館 情 報 技 術 論	2
	図 書 館 サ ー ビ ス 概 論	2
	情 報 サ ー ビ ス 論	2
	児 童 サ ー ビ ス 論	2
	情 報 サ ー ビ ス 演 習 I	1
	情 報 サ ー ビ ス 演 習 II	1
	図 書 館 情 報 資 源 概 論	2
	情 報 資 源 組 織 論	2
	情 報 資 源 組 織 演 習 I	1
	情 報 資 源 組 織 演 習 II	1
	選 択 科	図 書 館 基 礎 特 論
図 書 館 サ ー ビ ス 特 論		1
図 書 館 情 報 資 源 特 論		1

目	図書・図書館史	1
	図書館施設論	1
	図書館総合演習	1
	図書館実習	1

8-2 図書館学課程に関する推奨科目

授業科目	単位	備考
文書情報管理論	2	
ファイリング論	2	

9 真宗大谷派教師資格に関する科目

区分	授業科目	所要 単位数	備考	
A 群 必 修 科 目	教行信証演習	4	すべての科目 について、各 科目の所要単 位数以上履修 すること。	
	真宗学講義	4		
	真宗学演習	4		
	真宗史	4		
	仏教学講義	4		
	仏教学演習	4		
	差別問題	4		
	声明作法	2		
	仏教音楽	2		
B 群 選 択 必 修	インド仏教史	4	各部門より、授業科目 いづれか1科目につ いて所要単 位数以上履 修すること。	
	中国仏教史			
	日本仏教史			
	概論 部門	哲学概論		4
		倫理学概論		
		宗教学概論		
	インド哲学			
	中国哲学			

科目	理論 部門I	西洋哲学 キリスト教教理 宗教心理学 宗教社会学 宗教哲学	4
	理論 部門II	社会教育学 社会教育施設 視聴覚教育 青少年心理学 家族社会学 社会思想史 幼児教育論 社会事業論 社会経済史 寺院経済史 教化心理学 新宗教概説 都市農村問題研究 青少年問題研究 ジャーナリズム研究	2 又 は 4
	実践 部門	青少年指導実習 カウンセリング レクリエーション指導	4

10 初級スポーツ指導員資格に関する科目

科目名	単位数	備考
障害者スポーツ論	2	4科目中 1科目を 履修
生涯スポーツ・レクリエーション活動	2	
障害者スポーツ研究演習Ⅰ	2	
障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2	
身体活動Ⅰ（障害者スポーツ）	1	

身体活動Ⅱ (障害者スポーツ)	1	
-----------------	---	--

別表Ⅱ (第35条・第55条・第56条・第56条の2・第56条の3・第57条・第66条関係)

入学検定料及び学費等一覧表

種別	文学部	科目等履修生	聴講生	研修員	外国人留學研究生	備考
入学検定料	35,000 (10,000)	—	—	—	—	受験時のみ () 内は「大学入試センター試験利用入試」の受験者
入学金	200,000	—	—	—	—	入学時のみ
授業料	860,000 795,000	—	—	—	—	年額(教育・心理学科) 年額(上記以外の学科)
施設費	350,000 220,000 200,000	—	—	—	—	年額(人文情報学科) 年額(教育・心理学科) 年額(上記以外の学科)
選考料	—	10,000	10,000	—	10,000	出願時のみ
登録料	—	10,000	10,000	—	—	登録時のみ
履修料	—	15,000	—	—	—	1単位 (コース履修生含む)
聴講料	—	—	30,000	—	—	年額 (週2時間)
	—	—	15,000	—	—	半年 (週2時間)
研修費	—	—	—	240,000	—	年額
研究費	—	—	—	—	240,000	年額
	—	—	—	—	120,000	半年
在籍料	120,000	—	—	—	—	年額

注1 編入学者、転入学者、再入学者の入学検定料は、上記に準ずる。

2 2年次以降の授業料は、毎年度、前年度の授業料の額に、人事院勧告に基づく国家公務員の給与改訂率と、教育研究条件改善率（5%の範囲内）とを合算して得た指数を乗じた額を、前年度の授業料に加算した額（千円未満切り捨て）とする。

3 その他の費用については、別に定める。